当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 2016年２月19日（当初設定日）から無期限です。 | |
| 運用方針 | 世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券 |
| | マザーファンド | 世界のバイオ医薬品関連企業の株式 |
| 運用方法 | ①主として、マザーファンド受益証券に投資します。<br>②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主な投資制限 | 当ファンド | ①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。<br>②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。<br>③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | マザーファンド | ①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。<br>②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。<br>③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。<br>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。<br>②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。<br>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 | |

PICTET 1805

# iTrustバイオ

## 運用報告書(全体版)

第10期

決算日：2026年４月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「iTrustバイオ」は、2026年４月13日に第10期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。


**ピクテ・ジャパン株式会社**

東京都千代田区丸の内2-6-1
お問い合わせ窓口
投資信託営業部
電話番号　03-3212-1805
受付時間：委託者の営業日の午前９時から午後５時まで
ホームページ：www.pictet.co.jp

## ○最近５期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 参考指数 | | 株式組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | (分配落) | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | 百万円 |
| 6期(2022年４月13日) | 16,462 | 0 | 12.7 | 23,811 | 18.4 | 99.2 | 757 |
| 7期(2023年４月13日) | 18,137 | 0 | 10.2 | 24,272 | 1.9 | 98.2 | 912 |
| 8期(2024年４月15日) | 19,231 | 0 | 6.0 | 34,021 | 40.2 | 99.4 | 936 |
| 9期(2025年４月14日) | 17,286 | 0 | △10.1 | 33,358 | △ 1.9 | 98.0 | 851 |
| 10期(2026年４月13日) | 28,103 | 0 | 62.6 | 48,618 | 45.7 | 98.2 | 1,535 |

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。
(注) 参考指数は、MSCI世界株価指数（税引後配当込み）を委託者が円換算し、設定日（2016年２月19日）を10,000として指数化したものです。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 株式組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | 騰落率 | |
| (期　首) | 円 | % | | % | % |
| 2025年４月14日 | 17,286 | － | 33,358 | － | 98.0 |
| ４月末 | 18,304 | 5.9 | 34,915 | 4.7 | 98.4 |
| ５月末 | 18,452 | 6.7 | 37,394 | 12.1 | 98.2 |
| ６月末 | 18,700 | 8.2 | 39,104 | 17.2 | 98.0 |
| ７月末 | 20,408 | 18.1 | 41,235 | 23.6 | 98.2 |
| ８月末 | 20,961 | 21.3 | 41,633 | 24.8 | 98.6 |
| ９月末 | 21,550 | 24.7 | 43,129 | 29.3 | 98.9 |
| 10月末 | 24,445 | 41.4 | 45,636 | 36.8 | 98.6 |
| 11月末 | 27,127 | 56.9 | 46,368 | 39.0 | 98.3 |
| 12月末 | 27,021 | 56.3 | 47,293 | 41.8 | 98.2 |
| 2026年１月末 | 27,188 | 57.3 | 47,325 | 41.9 | 98.6 |
| ２月末 | 28,216 | 63.2 | 48,235 | 44.6 | 98.4 |
| ３月末 | 26,923 | 55.8 | 45,222 | 35.6 | 98.2 |
| (期　末) | | | | | |
| 2026年４月13日 | 28,103 | 62.6 | 48,618 | 45.7 | 98.2 |

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。
(注) 参考指数は、MSCI世界株価指数（税引後配当込み）を委託者が円換算し、設定日（2016年２月19日）を10,000として指数化したものです。

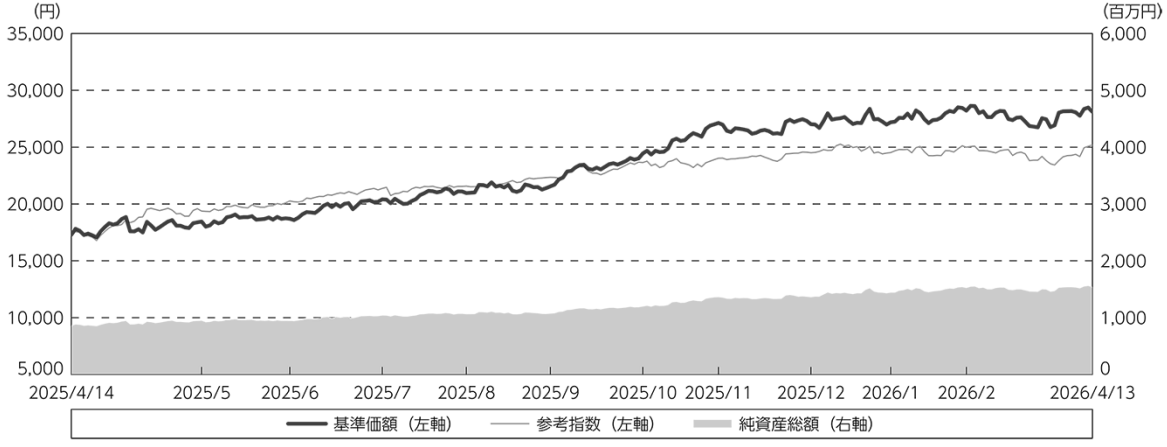
MSCI世界株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## ○当期中の運用状況と今後の運用方針

（2025年４月15日～2026年４月13日）

### 基準価額等の推移

当期の基準価額は、62.6%の上昇となりました。




期　首：17,286円
期　末：28,103円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：　62.6%

（注）参考指数は、期首（2025年４月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）参考指数は、MSCI世界株価指数（税引後配当込み）を委託者が円換算したものです。

**◇主な変動要因**

**【当期前半】**

上昇↑・実質的に組入れているアイオニス・ファーマシューティカルズ（米国、バイオテクノロジー）、アルナイラム・ファーマシューティカルズ（米国、バイオテクノロジー）などのバイオ医薬品関連企業の株価が上昇したこと

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

**【当期後半】**

上昇↑・実質的に組入れているリジェネロン・ファーマシューティカルズ（米国、バイオテクノロジー）、ギリアド・サイエンシズ（米国、バイオテクノロジー）、モデルナ（米国、バイオテクノロジー）などのバイオ医薬品関連企業の株価が上昇したこと

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

## 投資環境

・バイオ医薬品関連株式市場は、期を通じてみると大きく上昇しました。期初の2025年４月中旬は、初旬に米国のトランプ米大統領が相互関税名目で世界各国に高率の関税を課す方針を示し、世界の株式市場が大混乱に陥った流れを受けて、下落して始まりました。しかし下旬以降は、米国が態度を一部軟化させ、米国と世界各国との間での貿易面での対立が和らぐとの見方が徐々に優勢となったことで反発しました。５月上旬には、トランプ米政権による薬価引き下げの大統領令を受けて再び下落しましたが、その後は規制当局による新薬の承認や有望な臨床試験結果の発表、活発なM&A（合併・買収）の動きを背景に上昇に転じました。その後も米国経済の底堅い推移、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ見通し、AI（人工知能）関連の好材料を背景とした主力ハイテク株式の高成長への期待などから米国株式市場全般が堅調に推移する中、バイオ医薬品関連株式市場も好調な推移が続きました。さらに９月から10月初旬にかけては、大規模なM&Aが見られたことや、米国の大手製薬企業が薬価引き下げや関税の回避などで米国政府と合意に至り、先行きを巡る不透明感が後退したと見られたことで、一段高となりました。10月中旬から11月にかけては、FRBによる利下げの実施や、AI関連銘柄からの資金分散の動きに加え、９月末にファイザーと米国政府が薬価引き下げで合意に至ったことを受けて、同様の合意が拡大するとの期待から薬価を巡る政策面での不透明感が後退したこと、バイオ医薬品企業をターゲットとした大型のM&A案件が成立したこと、がん、肥満、希少疾患分野における良好な治験結果の発表などが好感され、バイオ医薬品関連株式市場の上昇要因となりました。12月は一部AI関連株に対する過熱感などが懸念材料となったものの、FRBの追加利下げやユーロ圏の経済成長見通しの上方修正などを背景に世界の株式市場は上昇しました。一方、バイオ医薬品関連株式は前月までの急上昇の反動もあり、小幅に下落しました。

2026年に入ると、１月から２月にかけては、米国で開催された大規模なヘルスケア・カンファレンスを通じて、新薬開発の進捗や規制当局との対話状況、新薬候補（パイプライン）の充実度などが概ね、前向きに評価され、バイオ医薬品株式は市場平均を上回るパフォーマンスとなりました。特に、業績の安定した大型のバイオ医薬品関連銘柄が再評価され、中小型銘柄に対して良好なパフォーマンスとなりました。３月は、イスラエルおよび米国によるイランへの攻撃を受けて中東情勢が緊迫化し、原油価格の上昇に伴うインフレ懸念や金融政策への警戒感から、世界株式市場は大きく調整しました。このような中、バイオ医薬品関連株式も下落しましたが、価格決定力の高さや成長見通し、M&A期待を背景に、相対的には市場平均よりも小幅な下落にとどまりました。期末にかけては、米国とイランの停戦交渉への期待、期限付き停戦やホルムズ海峡封鎖の一時解除などの動きを受けて上昇しました。

・為替市場では、期を通じてみると円安・米ドル高が進行しました。期初の2025年４月中旬においては、米国の関税政策を受けた世界経済の先行きに対する悲観的な見方から、円高・米ドル安が進行して始まりましたが、４月後半以降は、米国が態度を軟化させ、貿易摩擦激化への警戒感が後退したことで円安・米ドル高傾向に転じました。５月は、円安是正について日米協議が行われるとの観測や、米国の財政悪化への警戒感などで円高・米ドル安の推移となりました。６月以降は、FRBの利下げ観測や日米間の相互関税に係る合意を受けて円高・米ドル安となる場面もありましたが、米国株式市場の最高値更新や日本銀行の利上げ姿勢の後退を背景に円安・米ドル高傾向で推移しました。８月から９月にかけては、FRBの利下げ観測や米政府によるFRBの独立性侵害を巡る懸念が円高・米ドル安材料となった一方、積極財政派とみられる高市氏の自民党総裁選への出馬表明などが円安・米ドル高材料となり、もみ合う展開となりました。その後は、米国議会での予算不成立で政府機関が閉鎖されたことや債務増大への懸念などから米ドルの上値が一旦抑えられましたが、自民党総裁選での高市氏の勝利、自民党と公明党の連立解消による政局の不透明感などを受けて円安・米ドル高が進行しました。10月以降は、米連邦議会での政府予算案の不成立で米国政府機関が閉鎖されたことなどから米ドルの上値が一旦抑えられましたが、自民党総裁選での高市氏の勝利で財政拡張政策への懸念、米国政府機関の閉鎖解除などを背景に、11月中旬にかけて円安・米ドル高が継続しました。11月後半からは、日本銀行の為替介入への警戒感や、FRBの利下げ観測の高まりなどから円高・米ドル安の動きと

なる一方で、日本銀行が利上げを決定したものの、利上げペースや金利の到達点が不透明であったことなどから円安・米ドル高の動きもあり、12月下旬にかけてもみ合う推移となりました。2026年に入ると、日本の財政悪化懸念を背景に円安・米ドル高方向の圧力が続く一方で、為替介入への警戒感から円高方向への振れも見られ、上下に振れの大きい展開となりました。その後は、高市首相が追加利上げに難色を示したとの報道や、中東情勢の緊迫化を背景に原油や天然ガスなど資源価格が上昇し、景気後退やインフレ再燃への懸念が高まったことで、米国の利下げ姿勢が後退したことから円安・米ドル高が続き、期末にかけてはもみ合う動きとなりました。

## 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質的な外貨建資産につきましては原則として為替ヘッジを行いませんでした。

**＜マザーファンドの組入状況＞**

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。期末におけるESGを主要な要素として選定した銘柄の組入比率は、76.4%となりました。

当社および運用指図の権限の委託先におけるESGに関わる活動の詳細につきましては以下のリンク先をご覧ください。

https://www.pictet.co.jp/featured/esg-portal.html

**◇国・地域別組入比率**

【期首】

| 国・地域名 | 組入比率 |
|---|---|
| 米国 | 83.2% |
| 英国 | 5.2% |
| フランス | 3.7% |
| デンマーク | 1.8% |
| 中国 | 1.8% |
| オランダ | 1.1% |
| スイス | 1.0% |
| ドイツ | 0.5% |
| スペイン | 0.3% |

【期末】

| 国・地域名 | 組入比率 |
|---|---|
| 米国 | 90.5% |
| フランス | 3.2% |
| デンマーク | 1.4% |
| ドイツ | 1.3% |
| オランダ | 0.8% |
| カナダ | 0.8% |
| スイス | 0.7% |

（注）組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

**◇業種別組入比率**

【期首】

| 業種名 | 組入比率 |
|---|---|
| バイオテクノロジー | 76.4% |
| 医薬品 | 17.9% |
| ライフサイエンス関連 | 2.6% |
| ヘルスケア・サービス | 1.7% |

【期末】

| 業種名 | 組入比率 |
|---|---|
| バイオテクノロジー | 80.5% |
| 医薬品 | 14.6% |
| ライフサイエンス関連 | 2.9% |
| ヘルスケア・サービス | 0.7% |

（注）組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

**◇組入上位10銘柄**

【期首】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|---|
| バーテックス・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 8.7% |
| ギリアド・サイエンシズ | 米国 | バイオテクノロジー | 8.6% |
| アムジェン | 米国 | バイオテクノロジー | 8.2% |
| リジェネロン・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 6.5% |
| アストラゼネカ（ADR） | 英国 | 医薬品 | 4.7% |
| サノフィ（ADR） | フランス | 医薬品 | 3.7% |
| インサイト | 米国 | バイオテクノロジー | 3.5% |
| アルナイラム・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 3.0% |
| ヴィアトリス | 米国 | 医薬品 | 2.4% |
| ジャズ・ファーマシューティカルズ | 米国 | 医薬品 | 2.2% |

【期末】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|---|
| ギリアド・サイエンシズ | 米国 | バイオテクノロジー | 8.0% |
| バーテックス・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 7.2% |
| アムジェン | 米国 | バイオテクノロジー | 7.2% |
| リジェネロン・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 6.5% |
| インサイト | 米国 | バイオテクノロジー | 3.3% |
| ヴィアトリス | 米国 | 医薬品 | 3.2% |
| バイオジェン | 米国 | バイオテクノロジー | 3.1% |
| ジャズ・ファーマシューティカルズ | 米国 | 医薬品 | 3.0% |
| サノフィ（ADR） | フランス | 医薬品 | 2.8% |
| モデルナ | 米国 | バイオテクノロジー | 2.8% |

（注）組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- ギリアド・サイエンシズ　：HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。エイズ／HIV感染者の治療のパイオニアであり、患者が通常の生活を送れるレベルまで病気を抑制する治療薬を提供するだけでなく、感染しないための予防薬も提供。また、途上国などに向けて安価な治療薬も提供している。エイズ／HIV感染者治療におけるリーダーシップにより、患者や医師から多くの信頼を獲得している。
- バーテックス・ファーマシューティカルズ　：治療法の限られた、または治療法のない疾患に向けた治療薬の発見・開発および商品化に注力。嚢胞性線維症治療薬のパイオニア。2012年に米食品医薬品局（FDA）から承認を受けたカリデコ以降、オルカンビ、シムデコ、トリカフタといった嚢胞性線維症（CF）治療薬を次々と上市することで、CF患者の生活の質を大きく改善し、更に治療や通院にかかる費用の削減にも貢献。このような革新的技術を有することで、同社は数十億ドル規模のCF市場で存在感を示し、利益を獲得している。
- アムジェン　：関節リウマチ、骨粗しょう症の治療薬や白血球生成促進剤などが主力のバイオ医薬品企業。バイオシミラー（バイオ後続品）にも取り組む。がん、骨粗しょう症、腎臓病、炎症など様々な疾患をターゲットとした医薬品の強力なポートフォリオを有しており、人々の健康で長生きする生活に貢献している。また経験豊富で大規模な研究開発チームを持ち、他のバイオテクノロジー企業や学術機関、政府機関との良好なパートナーシップを確立している。強力な医薬品ポートフォリオ、最高の研究開発能力、強力な製造およびサプライチェーン能

力、そして確立されたブランドが、同社の成長維持に貢献している。

- リジェネロン・ファーマシューティカルズ：がん、眼病や慢性炎症などの治療薬の研究開発、商品化などを手掛けるバイオ医薬品メーカー。複数の疾患領域で治療に変革をもたらした非常に革新的な企業で、特に治療しなければ失明に至る可能性のある加齢黄斑変性症（AMD）の治療で大きな役割を果たしている。また、有効性の高い皮膚疾患の治療薬を有し、がん領域でも非常に有望なパイプライン（治療薬候補）の開発に取り組んでいる。同社の革新性の高さが、画期的な治療薬を生み出し、大きな市場の獲得につながることを繰り返し示してきた。
- インサイト：がん免疫治療薬などがん領域を中心に医薬品の開発、製造、販売を行う。骨髄線維症や真性多血症の治療薬を含む強力な承認済みの医薬品群と新しい治療法となる可能性を秘めた有望なパイプライン（治療薬候補）を有しており、開発した医薬品は患者の生活に大きな影響を与え、がんの研究・治療分野の発展に大きく寄与している。また社会的責任と持続可能性にも強く配慮した経営を行っている。

などとなりました。

## 収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきました。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

**◇分配原資の内訳**

（単位：円、１万口当たり、税込み）

| 項目 | 第10期<br>2025年４月15日～<br>2026年４月13日 |
|---|---|
| 当期分配金 | － |
| （対基準価額比率） | －％ |
| 当期の収益 | － |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 18,102 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

**（1）投資環境**

バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、相対的に高い利益成長が期待されます。また魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは、中長期的に継続すると見られ、これは株価にとってプラス要因になると見ています。一方、イラン情勢など地政学リスクへの懸念や、それに伴う潜在的なインフレ圧力の高まりなどにより、株価の変動が大きくなる可能性には注意が必要と考えます。また、米国をはじめとした主要国の金融政策、マクロ経済の動向、米トランプ政権の政策などに加え、注目パイプラインの治験結果の発表、決算の内容なども、バイオ医薬品株式の株価に影響を与える可能性があります。

**（2）投資方針**

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資を通じて世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

**＜マザーファンド＞**

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

## ○１万口当たりの費用明細

（2025年４月15日～2026年４月13日）

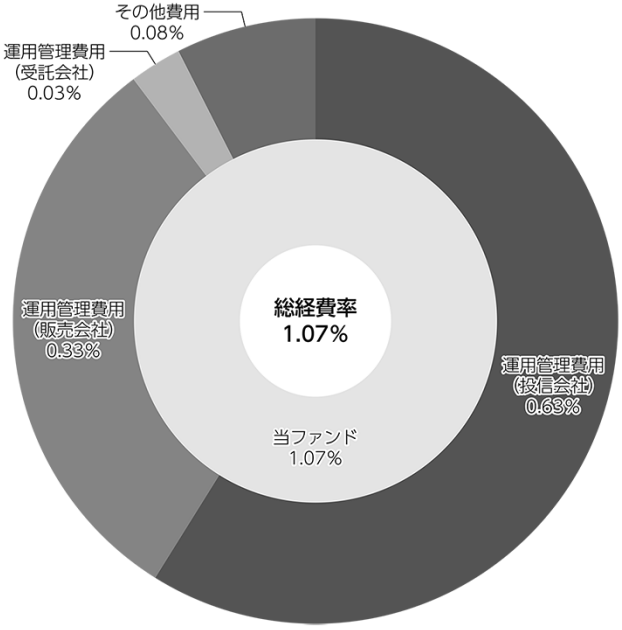
| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 | 230 | 0.987 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (146) | (0.625) | ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 |
| （販売会社） | ( 77) | (0.329) | ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 |
| （受託会社） | ( 8) | (0.033) | ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.003 | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株式） | ( 1) | (0.003) | |
| (c) 有価証券取引税 | 2 | 0.007 | (c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株式） | ( 2) | (0.007) | |
| (d) その他費用 | 18 | 0.078 | (d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 4) | (0.016) | ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | ( 8) | (0.036) | ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | ( 6) | (0.026) | ・その他は、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用その他信託事務の処理等に要する費用 |
| 合計 | 251 | 1.075 | |
| 期中の平均基準価額は、23,274円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）**

**◯総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07％です。




（注）上記の費用は、「１万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2025年４月15日～2026年４月13日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|---|---|---|---|---|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド | 29,203 | 363,060 | 19,773 | 239,260 |

（注）単位未満は切り捨てています。

## ○株式売買比率

（2025年４月15日～2026年４月13日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額 | 186,767,024千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 151,239,488千円 |
| (c) 売買高比率 (a) ／ (b) | 1.23 |

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
（注）単位未満は切り捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

（2025年４月15日～2026年４月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2025年４月15日～2026年４月13日）

該当事項はございません。

## ○特定資産の価格等の調査

（2025年４月15日～2026年４月13日）

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

（2026年４月13日現在）

### 親投資信託残高

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド | 98,111 | 107,541 | 1,527,764 |

（注）単位未満は切り捨てています。

## ○投資信託財産の構成

（2026年４月13日現在）

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド | 1,527,764 | 98.8 |
| コール・ローン等、その他 | 18,772 | 1.2 |
| 投資信託財産総額 | 1,546,536 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切り捨てています。

（注）ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（169,683,612千円）の投資信託財産総額（170,929,289千円）に対する比率は99.3%です。

（注）ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=159.88円、1香港ドル=20.41円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年４月13日現在)

| 項　　目 | 当 期 末 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 資産 | 1,546,536,428 |
| コール・ローン等 | 18,501,188 |
| ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド(評価額) | 1,527,764,936 |
| 未収入金 | 270,000 |
| 未収利息 | 304 |
| (B) 負債 | 11,262,214 |
| 未払解約金 | 4,065,994 |
| 未払信託報酬 | 6,817,528 |
| その他未払費用 | 378,692 |
| (C) 純資産総額(Ａ－Ｂ) | 1,535,274,214 |
| 元本 | 546,306,939 |
| 次期繰越損益金 | 988,967,275 |
| (D) 受益権総口数 | 546,306,939口 |
| １万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ) | 28,103円 |

＜注記事項（当運用報告書作成時点では、監査未了です。）＞

(貸借対照表関係)

(注) 期首元本額　492,755,906円
　　期中追加設定元本額　261,452,533円
　　期中一部解約元本額　207,901,500円

(注) １口当たり純資産額　2.8103円

## ○損益の状況 (2025年４月15日～2026年４月13日)

| 項　　目 | 当　　期 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 38,879 |
| 受取利息 | 38,879 |
| (B) 有価証券売買損益 | 434,125,670 |
| 売買益 | 550,523,798 |
| 売買損 | △116,398,128 |
| (C) 信託報酬等 | △ 12,420,961 |
| (D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ) | 421,743,588 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 10,895,434 |
| (F) 追加信託差損益金 | 578,119,121 |
| (配当等相当額) | ( 245,032,018) |
| (売買損益相当額) | ( 333,087,103) |
| (G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ) | 988,967,275 |
| (H) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ) | 988,967,275 |
| 追加信託差損益金 | 578,119,121 |
| (配当等相当額) | ( 245,246,686) |
| (売買損益相当額) | ( 332,872,435) |
| 分配準備積立金 | 410,848,154 |

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（10,003,559円）、費用控除後の有価証券等損益額（335,400,329円）、信託約款に規定する収益調整金（578,119,121円）および分配準備積立金（65,444,266円）より分配対象収益は988,967,275円（10,000口当たり18,102円）ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 主要投資対象であるマザーファンド受益証券において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
当該費用は、ファンドに係る信託報酬のうち委託者が受ける報酬から支弁しております。

## ○お知らせ

2026年４月１日付で、「一般社団法人投資信託協会」は「一般社団法人日本投資顧問業協会」と合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更したことに伴い、所要の約款変更を行いました。

# ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド

# 運用状況のご報告

第26期（決算日：2026年４月13日）
（計算期間：2025年４月15日～2026年４月13日）

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第26期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|---|---|
| 運用方針 | 世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。 |
| 主要投資対象 | 世界のバイオ医薬品関連企業の株式 |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合…制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合…制限を設けません。 |

## ○最近５期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 参考指数 | | 株式組入比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | |
| | 円 | % | | % | % | 百万円 |
| 22期(2022年４月13日) | 78,594 | 14.4 | 50,180 | 3.7 | 99.7 | 60,952 |
| 23期(2023年４月13日) | 87,939 | 11.9 | 53,269 | 6.2 | 98.7 | 157,955 |
| 24期(2024年４月15日) | 94,698 | 7.7 | 61,768 | 16.0 | 99.9 | 206,728 |
| 25期(2025年４月14日) | 86,342 | △ 8.8 | 53,732 | △13.0 | 98.6 | 126,784 |
| 26期(2026年４月13日) | 142,063 | 64.5 | 89,724 | 67.0 | 98.6 | 170,911 |

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日（2000年４月14日）を10,000として指数化したものです。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 参考指数 | | 株式組入比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | 騰落率 | |
| （期　首） | 円 | % | | % | % |
| 2025年４月14日 | 86,342 | － | 53,732 | － | 98.6 |
| ４月末 | 91,495 | 6.0 | 57,386 | 6.8 | 98.8 |
| ５月末 | 92,316 | 6.9 | 57,575 | 7.2 | 98.5 |
| ６月末 | 93,648 | 8.5 | 58,695 | 9.2 | 98.3 |
| ７月末 | 102,318 | 18.5 | 64,444 | 19.9 | 98.5 |
| ８月末 | 105,179 | 21.8 | 66,007 | 22.8 | 98.7 |
| ９月末 | 108,238 | 25.4 | 69,023 | 28.5 | 98.9 |
| 10月末 | 122,923 | 42.4 | 78,404 | 45.9 | 98.9 |
| 11月末 | 136,580 | 58.2 | 87,366 | 62.6 | 98.7 |
| 12月末 | 136,166 | 57.7 | 86,619 | 61.2 | 98.6 |
| 2026年１月末 | 137,134 | 58.8 | 87,156 | 62.2 | 99.0 |
| ２月末 | 142,456 | 65.0 | 89,512 | 66.6 | 98.7 |
| ３月末 | 136,030 | 57.5 | 85,664 | 59.4 | 98.5 |
| （期　末） | | | | | |
| 2026年４月13日 | 142,063 | 64.5 | 89,724 | 67.0 | 98.6 |

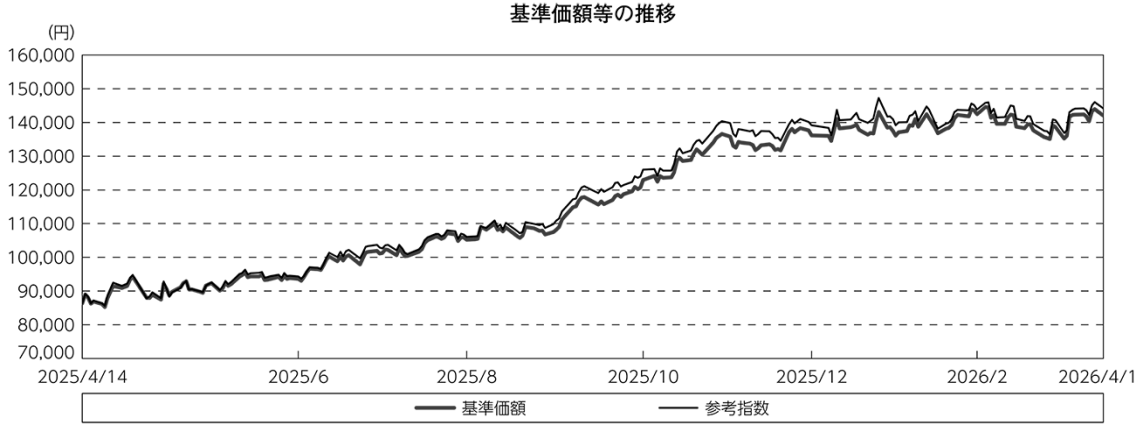
(注) 騰落率は期首比です。
(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日（2000年４月14日）を10,000として指数化したものです。

## ○当期中の運用状況と今後の運用方針

（2025年４月15日～2026年４月13日）

### 基準価額等の推移

当期の基準価額は、64.5%の上昇となりました。




※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

**◇主な変動要因**

**【当期前半】**

上昇↑・組入れているアイオニス・ファーマシューティカルズ（米国、バイオテクノロジー）、アルナイラム・ファーマシューティカルズ（米国、バイオテクノロジー）などのバイオ医薬品関連企業の株価が上昇したこと

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

**【当期後半】**

上昇↑・組入れているリジェネロン・ファーマシューティカルズ（米国、バイオテクノロジー）、ギリアド・サイエンシズ（米国、バイオテクノロジー）、モデルナ（米国、バイオテクノロジー）などのバイオ医薬品関連企業の株価が上昇したこと

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

### 投資環境

・バイオ医薬品関連株式市場は、期を通じてみると大きく上昇しました。期初の2025年４月中旬は、初旬に米国のトランプ米大統領が相互関税名目で世界各国に高率の関税を課す方針を示し、世界の株式市場が大混乱に陥った流れを受けて、下落して始まりました。しかし下旬以降は、米国が態度を一部軟化させ、米国と世界各国との間での貿易面での対立が和らぐとの見方が徐々に優勢となったことで反発しました。５月上旬には、トランプ米政権による薬価引き下げの大統領令を受けて再び下落しましたが、その後は規制当局による新薬の承認や有望な臨床試験結果の発表、活発なM&A（合併・買収）の動きを背景に上昇に転じました。その後も米国経済の底堅い推移、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ見通し、AI（人工知能）関連

の好材料を背景とした主力ハイテク株式の高成長への期待などから米国株式市場全般が堅調に推移する中、バイオ医薬品関連株式市場も好調な推移が続きました。さらに９月から10月初旬にかけては、大規模なM&Aが見られたことや、米国の大手製薬企業が薬価引き下げや関税の回避などで米国政府と合意に至り、先行きを巡る不透明感が後退したと見られたことで、一段高となりました。10月中旬から11月にかけては、FRBによる利下げの実施や、AI関連銘柄からの資金分散の動きに加え、９月末にファイザーと米国政府が薬価引き下げで合意に至ったことを受けて、同様の合意が拡大するとの期待から薬価を巡る政策面での不透明感が後退したこと、バイオ医薬品企業をターゲットとした大型のM&A案件が成立したこと、がん、肥満、希少疾患分野における良好な治験結果の発表などが好感され、バイオ医薬品関連株式市場の上昇要因となりました。12月は一部AI関連株に対する過熱感などが懸念材料となったものの、FRBの追加利下げやユーロ圏の経済成長見通しの上方修正などを背景に世界の株式市場は上昇しました。一方、バイオ医薬品関連株式は前月までの急上昇の反動もあり、小幅に下落しました。

2026年に入ると、１月から２月にかけては、米国で開催された大規模なヘルスケア・カンファレンスを通じて、新薬開発の進捗や規制当局との対話状況、新薬候補（パイプライン）の充実度などが概ね、前向きに評価され、バイオ医薬品株式は市場平均を上回るパフォーマンスとなりました。特に、業績の安定した大型のバイオ医薬品関連銘柄が再評価され、中小型銘柄に対して良好なパフォーマンスとなりました。３月は、イスラエルおよび米国によるイランへの攻撃を受けて中東情勢が緊迫化し、原油価格の上昇に伴うインフレ懸念や金融政策への警戒感から、世界株式市場は大きく調整しました。このような中、バイオ医薬品関連株式も下落しましたが、価格決定力の高さや成長見通し、M&A期待を背景に、相対的には市場平均よりも小幅な下落にとどまりました。期末にかけては、米国とイランの停戦交渉への期待、期限付き停戦やホルムズ海峡封鎖の一時解除などの動きを受けて上昇しました。

・為替市場では、期を通じてみると円安・米ドル高が進行しました。期初の2025年４月中旬においては、米国の関税政策を受けた世界経済の先行きに対する悲観的な見方から、円高・米ドル安が進行して始まりましたが、４月後半以降は、米国が態度を軟化させ、貿易摩擦激化への警戒感が後退したことで円安・米ドル高傾向に転じました。５月は、円安是正について日米協議が行われるとの観測や、米国の財政悪化への警戒感などで円高・米ドル安の推移となりました。６月以降は、FRBの利下げ観測や日米間の相互関税に係る合意を受けて円高・米ドル安となる場面もありましたが、米国株式市場の最高値更新や日本銀行の利上げ姿勢の後退を背景に円安・米ドル高傾向で推移しました。８月から９月にかけては、FRBの利下げ観測や米政府によるFRBの独立性侵害を巡る懸念が円高・米ドル安材料となった一方、積極財政派とみられる高市氏の自民党総裁選への出馬表明などが円安・米ドル高材料となり、もみ合う展開となりました。その後は、米国議会での予算不成立で政府機関が閉鎖されたことや債務増大への懸念などから米ドルの上値が一旦抑えられましたが、自民党総裁選での高市氏の勝利、自民党と公明党の連立解消による政局の不透明感などを受けて円安・米ドル高が進行しました。10月以降は、米連邦議会での政府予算案の不成立で米国政府機関が閉鎖されたことなどから米ドルの上値が一旦抑えられましたが、自民党総裁選での高市氏の勝利で財政拡張政策への懸念、米国政府機関の閉鎖解除などを背景に、11月中旬にかけて円安・米ドル高が継続しました。11月後半からは、日本銀行の為替介入への警戒感や、FRBの利下げ観測の高まりなどから円高・米ドル安の動きとなる一方で、日本銀行が利上げを決定したものの、利上げペースや金利の到達点が不透明であったことなどから円安・米ドル高の動きもあり、12月下旬にかけてもみ合う推移となりました。2026年に入ると、日本の財政悪化懸念を背景に円安・米ドル高方向の圧力が続く一方で、為替介入への警戒感から円高方向への振れも見られ、上下に振れの大きい展開となりました。その後は、高市首相が追加利上げに難色を示したとの報道や、中東情勢の緊迫化を背景に原油や天然ガスなど資源価格が上昇し、景気後退やインフレ再燃への懸念が高まったことで、米国の利下げ姿勢が後退したことから円安・米ドル高が続き、期末にかけてはもみ合う動きとなりました。

## 組入状況

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。期末におけるESGを主要な要素として選定した銘柄の組入比率は、76.4%となりました。

当社および運用指図の権限の委託先におけるESGに関わる活動の詳細につきましては以下のリンク先をご覧ください。

https://www.pictet.co.jp/featured/esg-portal.html

**◇国・地域別組入比率**

【期首】

| 国・地域名 | 組入比率 |
|---|---|
| 米国 | 83.2% |
| 英国 | 5.2% |
| フランス | 3.7% |
| デンマーク | 1.8% |
| 中国 | 1.8% |
| オランダ | 1.1% |
| スイス | 1.0% |
| ドイツ | 0.5% |
| スペイン | 0.3% |

【期末】

| 国・地域名 | 組入比率 |
|---|---|
| 米国 | 90.5% |
| フランス | 3.2% |
| デンマーク | 1.4% |
| ドイツ | 1.3% |
| オランダ | 0.8% |
| カナダ | 0.8% |
| スイス | 0.7% |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

**◇業種別組入比率**

【期首】

| 業種名 | 組入比率 |
|---|---|
| バイオテクノロジー | 76.4% |
| 医薬品 | 17.9% |
| ライフサイエンス関連 | 2.6% |
| ヘルスケア・サービス | 1.7% |

【期末】

| 業種名 | 組入比率 |
|---|---|
| バイオテクノロジー | 80.5% |
| 医薬品 | 14.6% |
| ライフサイエンス関連 | 2.9% |
| ヘルスケア・サービス | 0.7% |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

**◇組入上位10銘柄**

【期首】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|---|
| バーテックス・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 8.7% |
| ギリアド・サイエンシズ | 米国 | バイオテクノロジー | 8.6% |
| アムジェン | 米国 | バイオテクノロジー | 8.2% |
| リジェネロン・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 6.5% |
| アストラゼネカ（ADR） | 英国 | 医薬品 | 4.7% |
| サノフィ（ADR） | フランス | 医薬品 | 3.7% |
| インサイト | 米国 | バイオテクノロジー | 3.5% |
| アルナイラム・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 3.0% |
| ヴィアトリス | 米国 | 医薬品 | 2.4% |
| ジャズ・ファーマシューティカルズ | 米国 | 医薬品 | 2.2% |

【期末】

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---|---|---|---|
| ギリアド・サイエンシズ | 米国 | バイオテクノロジー | 8.0% |
| バーテックス・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 7.2% |
| アムジェン | 米国 | バイオテクノロジー | 7.2% |
| リジェネロン・ファーマシューティカルズ | 米国 | バイオテクノロジー | 6.5% |
| インサイト | 米国 | バイオテクノロジー | 3.3% |
| ヴィアトリス | 米国 | 医薬品 | 3.2% |
| バイオジェン | 米国 | バイオテクノロジー | 3.1% |
| ジャズ・ファーマシューティカルズ | 米国 | 医薬品 | 3.0% |
| サノフィ（ADR） | フランス | 医薬品 | 2.8% |
| モデルナ | 米国 | バイオテクノロジー | 2.8% |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- ギリアド・サイエンシズ　：HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。エイズ／HIV感染者の治療のパイオニアであり、患者が通常の生活を送れるレベルまで病気を抑制する治療薬を提供するだけでなく、感染しないための予防薬も提供。また、途上国などに向けて安価な治療薬も提供している。エイズ／HIV感染者治療におけるリーダーシップにより、患者や医師から多くの信頼を獲得している。
- バーテックス・ファーマシューティカルズ　：治療法の限られた、または治療法のない疾患に向けた治療薬の発見・開発および商品化に注力。嚢胞性線維症治療薬のパイオニア。2012年に米食品医薬品局（FDA）から承認を受けたカリデコ以降、オルカンビ、シムデコ、トリカフタといった嚢胞性線維症（CF）治療薬を次々と上市することで、CF患者の生活の質を大きく改善し、更に治療や通院にかかる費用の削減にも貢献。このような革新的技術を有することで、同社は数十億ドル規模のCF市場で存在感を示し、利益を獲得している。
- アムジェン　：関節リウマチ、骨粗しょう症の治療薬や白血球生成促進剤などが主力のバイオ医薬品企業。バイオシミラー（バイオ後続品）にも取り組む。がん、骨粗しょう症、腎臓病、炎症など様々な疾患をターゲットとした医薬品の強力なポートフォリオを有しており、人々の健康で長生きする生活に貢献している。また経験豊富で大規模な研究開発チームを持ち、他のバイオテクノロジー企業や学術機関、政府機関との良好なパートナーシップを確立している。強力な医薬品ポートフォリオ、最高の研究開発能力、強力な製造およびサプライチェーン能

力、そして確立されたブランドが、同社の成長維持に貢献している。

- リジェネロン・ファーマシューティカルズ：がん、眼病や慢性炎症などの治療薬の研究開発、商品化などを手掛けるバイオ医薬品メーカー。複数の疾患領域で治療に変革をもたらした非常に革新的な企業で、特に治療しなければ失明に至る可能性のある加齢黄斑変性症（AMD）の治療で大きな役割を果たしている。また、有効性の高い皮膚疾患の治療薬を有し、がん領域でも非常に有望なパイプライン（治療薬候補）の開発に取り組んでいる。同社の革新性の高さが、画期的な治療薬を生み出し、大きな市場の獲得につながることを繰り返し示してきた。
- インサイト：がん免疫治療薬などがん領域を中心に医薬品の開発、製造、販売を行う。骨髄線維症や真性多血症の治療薬を含む強力な承認済みの医薬品群と新しい治療法となる可能性を秘めた有望なパイプライン（治療薬候補）を有しており、開発した医薬品は患者の生活に大きな影響を与え、がんの研究・治療分野の発展に大きく寄与している。また社会的責任と持続可能性にも強く配慮した経営を行っている。

などとなりました。

## ○今後の運用方針

**（1）投資環境**

バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、相対的に高い利益成長が期待されます。また魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは、中長期的に継続すると見られ、これは株価にとってプラス要因になると見ています。一方、イラン情勢など地政学リスクへの懸念や、それに伴う潜在的なインフレ圧力の高まりなどにより、株価の変動が大きくなる可能性には注意が必要と考えます。また、米国をはじめとした主要国の金融政策、マクロ経済の動向、米トランプ政権の政策などに加え、注目パイプラインの治験結果の発表、決算の内容なども、バイオ医薬品株式の株価に影響を与える可能性があります。

**（2）投資方針**

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

## ○１万口当たりの費用明細

（2025年４月15日～2026年４月13日）

| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 売買委託手数料 | 3 | 0.002 | (a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株式） | ( 3) | (0.002) | |
| (b) 有価証券取引税 | 7 | 0.006 | (b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株式） | ( 7) | (0.006) | |
| (c) その他費用 | 26 | 0.022 | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (18) | (0.016) | ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （その他） | ( 7) | (0.006) | ・その他は、信託事務の処理等に要する費用 |
| 合計 | 36 | 0.030 | |
| 期中の平均基準価額は、117,040円です。 | | | |

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2025年４月15日～2026年４月13日）

### 株式

| | | 買付 株数 | 買付 金額 | 売付 株数 | 売付 金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 百株 | 千米ドル | 百株 | 千米ドル |
| 外国 | アメリカ | 138,518<br>(△ 3,048) | 508,685<br>( －) | 157,063<br>( 4,757) | 695,403<br>( －) |
| | | | 千香港ドル | | 千香港ドル |
| | 香港 | 891 | 17,295 | 3,111 | 54,500 |

（注）金額は受渡代金です。
（注）単位未満は切り捨てています。
（注）( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

（2025年４月15日～2026年４月13日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項　　目 | 当　　期 |
|---|---|
| (a) 期中の株式売買金額 | 186,767,024千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 151,239,488千円 |
| (c) 売買高比率 (a) ／ (b) | 1.23 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
(注) 単位未満は切り捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

（2025年４月15日～2026年４月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○特定資産の価格等の調査

（2025年４月15日～2026年４月13日）

該当事項はございません。

## 外国株式

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | | | 業種等 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 株数 | 株数 | 評価額 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (アメリカ) | 百株 | 百株 | 千米ドル | 千円 | |
| ABIVAX SA-ADR | － | 332 | 4,196 | 670,864 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ACADIA PHARMACEUTICALS INC | 4,182 | 3,001 | 6,525 | 1,043,359 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| AGIOS PHARMACEUTICALS INC | 2,992 | 1,746 | 5,747 | 918,989 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC | 1,100 | 842 | 27,150 | 4,340,897 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| AMGEN INC | 2,542 | 2,185 | 76,697 | 12,262,455 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| AMICUS THERAPEUTICS INC | 15,864 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| AMNEAL PHARMACEUTICALS INC | － | 3,369 | 4,225 | 675,565 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| APELLIS PHARMACEUTICALS INC | 3,052 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ARCUTIS BIOTHERAPEUTICS INC | － | 1,474 | 3,569 | 570,621 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ARGENX SE - ADR | 160 | 105 | 8,425 | 1,347,006 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ARROWHEAD PHARMACEUTICALS IN | 2,738 | 438 | 2,858 | 457,002 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ASCENDIS PHARMA A/S - ADR | 1,060 | 611 | 14,627 | 2,338,632 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR | 6,287 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BEAM THERAPEUTICS INC | 1,614 | 2,776 | 7,615 | 1,217,553 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BIOCRYST PHARMACEUTICALS INC | 5,852 | 8,361 | 7,993 | 1,277,954 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC | 2,103 | 2,907 | 15,853 | 2,534,641 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BIOGEN INC | 1,319 | 1,940 | 33,568 | 5,366,870 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BIONTECH SE-ADR | 489 | 1,483 | 14,170 | 2,265,515 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BLUEPRINT MEDICINES CORP | 1,612 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| BRIDGEBIO PHARMA INC | 2,829 | 2,154 | 16,072 | 2,569,612 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| CENTESSA PHARMACEUTICALS-ADR | － | 969 | 3,826 | 611,701 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| COGENT BIOSCIENCES INC | － | 1,318 | 4,794 | 766,563 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| CRINETICS PHARMACEUTICALS IN | － | 1,585 | 6,253 | 999,864 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| CYTOKINETICS INC | 884 | 918 | 5,969 | 954,483 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| DENALI THERAPEUTICS INC | 3,246 | 6,680 | 12,847 | 2,054,059 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| DYNAVAX TECHNOLOGIES CORP | 2,497 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ERASCA INC | － | 3,236 | 5,505 | 880,264 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| EXELIXIS INC | 5,214 | 5,782 | 25,597 | 4,092,462 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| GILEAD SCIENCES INC | 7,355 | 6,152 | 85,518 | 13,672,625 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| GRAIL INC | － | 476 | 2,174 | 347,702 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| GRIFOLS SA-ADR | 3,976 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| GUARDANT HEALTH INC | 3,358 | 965 | 7,586 | 1,212,987 | ヘルスケア機器・サービス |
| HARMONY BIOSCIENCES HOLDINGS | 1,447 | 1,223 | 3,534 | 565,075 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ILLUMINA INC | 1,331 | 2,168 | 26,228 | 4,193,471 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| IMMUNITYBIO INC | － | 8,352 | 6,080 | 972,206 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| INCYTE CORP | 5,478 | 3,708 | 35,630 | 5,696,564 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| INDIVIOR PHARMACEUTICALS INC | － | 2,905 | 8,874 | 1,418,854 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| INSMED INC | 1,485 | 1,585 | 24,543 | 3,924,076 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| IONIS PHARMACEUTICALS INC | 5,942 | 2,725 | 20,489 | 3,275,831 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| IOVANCE BIOTHERAPEUTICS INC | 8,933 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| KYMERA THERAPEUTICS INC | － | 846 | 7,203 | 1,151,624 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| LEGEND BIOTECH CORP-ADR | 917 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| LIGAND PHARMACEUTICALS | 696 | 176 | 3,609 | 577,113 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| MADRIGAL PHARMACEUTICALS INC | 230 | 83 | 4,344 | 694,592 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| MEDPACE HOLDINGS INC | 424 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| MODERNA INC | 5,354 | 5,889 | 30,010 | 4,798,061 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| NEUROCRINE BIOSCIENCES INC | 733 | 1,554 | 20,036 | 3,203,368 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| PTC THERAPEUTICS INC | 2,681 | 2,097 | 14,409 | 2,303,727 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| PRAXIS PRECISION MEDICINES I | － | 253 | 8,018 | 1,281,959 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | | | 業種等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (アメリカ) | | 百株 | 百株 | 千米ドル | 千円 | |
| REGENERON PHARMACEUTICALS | | 1,045 | 926 | 69,346 | 11,087,056 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| REVOLUTION MEDICINES INC | | － | 1,460 | 14,087 | 2,252,241 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| RHYTHM PHARMACEUTICALS INC | | 635 | 861 | 7,270 | 1,162,372 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| SANOFI-ADR | | 6,395 | 6,471 | 30,258 | 4,837,727 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| SAREPTA THERAPEUTICS INC | | 1,400 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| SCHOLAR ROCK HOLDING CORP | | 790 | 532 | 2,658 | 425,060 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| SUMMIT THERAPEUTICS INC | | 7,712 | 6,078 | 11,956 | 1,911,672 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC | | 5,327 | 4,526 | 22,939 | 3,667,614 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| SYNDAX PHARMACEUTICALS INC | | － | 3,331 | 8,141 | 1,301,616 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| TARSUS PHARMACEUTICALS INC | | 791 | 324 | 2,354 | 376,425 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| 10X GENOMICS INC-CLASS A | | － | 2,040 | 4,748 | 759,160 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| TERNS PHARMACEUTICALS INC | | － | 792 | 4,168 | 666,477 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| TRAVERE THERAPEUTICS INC | | 6,436 | 5,097 | 14,762 | 2,360,196 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| TWIST BIOSCIENCE CORP | | 1,074 | 1,573 | 7,540 | 1,205,599 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN | | 5,720 | 7,187 | 16,747 | 2,677,605 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| UNITED THERAPEUTICS CORP | | 254 | 115 | 6,605 | 1,056,038 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| VAXCYTE INC | | 768 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| VERA THERAPEUTICS INC | | － | 576 | 2,596 | 415,137 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| VERONA PHARMA PLC - ADR | | 690 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| VERTEX PHARMACEUTICALS INC | | 1,590 | 1,768 | 77,157 | 12,335,925 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| VIATRIS INC | | 27,888 | 25,130 | 33,850 | 5,412,039 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| XENON PHARMACEUTICALS INC | | － | 1,429 | 8,347 | 1,334,564 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ZYMEWORKS INC | | － | 2,870 | 7,555 | 1,208,023 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ALKERMES PLC | | 3,808 | 5,972 | 19,924 | 3,185,586 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| JAZZ PHARMACEUTICALS PLC | | 1,976 | 1,627 | 31,598 | 5,052,026 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ROIVANT SCIENCES LTD | | 3,018 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| ROYALTY PHARMA PLC- CL A | | 2,287 | 866 | 4,148 | 663,258 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| CRISPR THERAPEUTICS AG | | 2,315 | 1,373 | 7,036 | 1,125,044 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| (アメリカ…非上場) | | | | | | |
| CONTRA RADIUS HEALTH INC | | 4,757 | － | － | － | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| 小計 | 株数・金額 | 204,676 | 178,324 | 1,038,186 | 165,985,258 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 59 | 64 | － | ＜97.1%＞ | |
| (香港) | | | | 千香港ドル | | |
| BEIGENE LTD | | 8,964 | 6,744 | 127,529 | 2,602,867 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス |
| 小計 | 株数・金額 | 8,964 | 6,744 | 127,529 | 2,602,867 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 1 | 1 | － | ＜1.5%＞ | |
| 合計 | 株数・金額 | 213,640 | 185,068 | － | 168,588,125 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 60 | 65 | － | ＜98.6%＞ | |

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の＜ ＞内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。
(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。
(注) －印は組入れがありません。

## ○投資信託財産の構成

（2026年４月13日現在）

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 株式 | 168,588,125 | 98.6 |
| コール・ローン等、その他 | 2,341,164 | 1.4 |
| 投資信託財産総額 | 170,929,289 | 100.0 |

（注）評価額の単位未満は切り捨てています。
（注）当期末における外貨建純資産（169,683,612千円）の投資信託財産総額（170,929,289千円）に対する比率は99.3%です。
（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=159.88円、1香港ドル=20.41円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年４月13日現在）

| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| | 円 |
| **(A) 資産** | **170,929,289,417** |
| コール・ローン等 | 2,341,143,126 |
| 株式(評価額) | 168,588,125,815 |
| 未収利息 | 20,476 |
| **(B) 負債** | **17,370,000** |
| 未払解約金 | 17,370,000 |
| **(C) 純資産総額(A－B)** | **170,911,919,417** |
| 元本 | 12,030,740,537 |
| 次期繰越損益金 | 158,881,178,880 |
| **(D) 受益権総口数** | **12,030,740,537口** |
| **１万口当たり基準価額(C／D)** | **142,063円** |

＜注記事項＞
(貸借対照表関係)
(注) 期首元本額 14,684,006,713円
期中追加設定元本額 1,291,870,834円
期中一部解約元本額 3,945,137,010円
(注) １口当たり純資産額 14.2063円
(注) 期末における元本の内訳
ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなし 10,740,299,113円
ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）為替ヘッジなし 782,839,233円
ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）円コース 118,801,101円
iTrustバイオ 107,541,368円
ピクテ・バイオ医薬品ファンドⅡ（適格機関投資家専用） 281,259,722円

## ○損益の状況

（2025年４月15日～2026年４月13日）

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | 円 |
| **(A) 配当等収益** | **1,344,389,582** |
| 受取配当金 | 1,238,321,139 |
| 受取利息 | 50,908,519 |
| その他収益金 | 55,159,924 |
| **(B) 有価証券売買損益** | **72,598,731,846** |
| 売買益 | 79,118,427,107 |
| 売買損 | △ 6,519,695,261 |
| **(C) 保管費用等** | **△ 34,462,418** |
| **(D) 当期損益金(A＋B＋C)** | **73,908,659,010** |
| **(E) 前期繰越損益金** | **112,100,360,344** |
| **(F) 追加信託差損益金** | **14,304,866,616** |
| **(G) 解約差損益金** | **△ 41,432,707,090** |
| **(H) 計(D＋E＋F＋G)** | **158,881,178,880** |
| **次期繰越損益金(H)** | **158,881,178,880** |

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

2026年４月１日付で、「一般社団法人投資信託協会」は「一般社団法人日本投資顧問業協会」と合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更したことに伴い、所要の約款変更を行いました。